

登録速報

下記の通り適用拡大登録となりましたので、ご連絡します。

記

農薬名：サンダーボルト007（登録番号：第21072号）（日本農薬(株)登録）

適用拡大登録月日：平成29年10月11日

適用拡大登録内容：

- 使用時期の追加：たまねぎ(秋播移植栽培)/定植後畦間処理：雑草生育期 但し、収穫30日前まで
- 使用時期の変更：たまねぎ(秋播移植栽培)/耕起7日前まで(雑草生育期：草丈30cm以下)⇒耕起又は定植7日前まで(雑草生育期)
- 使用目的の追加：水田作物(水田畦畔)/草丈抑制による刈込軽減、50~150mL/10a

【変更後】

作物名	適用場所	適用雑草名	使用目的	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数	ピラフルフェンを含む農薬の総使用回数
					薬量	希釈水量				
たまねぎ (秋播移植栽培)	-	一年生雑草	-	耕起又は定植 7日前まで (雑草生育期)	400~600 mL/10a	100 L/10a	3回 以内	雑草 茎葉 散布	3回以内	3回以内
		スズメノカタビラ 及び 一年生広葉雑草		定植後畦間処理 ：雑草生育期 但し、収穫30日 前まで						
水田作物 (水田 畦畔)	水田 畦畔	一年生及び 多年生雑草	草丈 抑制 に よる 刈込 軽減	雑草生育期 又は 刈取後再生期 但し、収穫14日 前まで	50~150 mL/10a		2回 以内			2回以内

注意事項の変更：

【変更後】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 容器をよく振ってから使用すること。
- 散布器具、容器は除草剤専用のものを用いること。
- 本剤はグリホサートを含む混合剤であるので、他のグリホサートを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用すること。
- 本剤は展着剤加用の必要はない。
- 土壌が流亡したり、くずれたりするおそれのある所では使用しないこと。
- 激しい降雨が予想される場合は使用をさけること。
- スギナ防除に際しては、スギナの生育期を過ぎた時期での散布及びスギナが他雑草の中に埋没しているような条件では効果が劣ることがあるので、適期にスギナにかかるように注意して散布すること。
また、スギナの再生を長期間抑制したい場合には、薬量を 3000～4000mL/10a に設定することが望ましい。
- 多年生雑草およびツユクサ科雑草を主対象に使用する場合、所定範囲の多めの薬量を使用すること。
- 作物の出芽前に使用する場合は、作物の出芽後に散布すると薬害を生じるおそれがあるので、必ず出芽前に散布すること。
- 生育期畦間散布に使用する場合には作物にかからないよう十分注意して散布すること。
- 水田畦畔で薬量を 50～150mL/10a で使用する場合、草丈 20 cm以下を目安に処理すること。
- 農作物や有用植物にかかると強い薬害を生じるので、風向きなどに十分注意してかからないように散布すること。
- 水田への飛散、流入等により水稻に薬害が生じるので十分注意すること。
- 散布液を調製した容器及び器具は使用后石けん水等で十分洗浄すること。
- 公園、堤とう等で使用する場合、特に以下のことに注意すること。
- 水源池、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意すること。
- 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 本剤の使用に当っては、使用量，使用時期，使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以上